

2024.01.04.「イエス：新しい始まり」 & 聖餐式

Leitu 牧師

主よ、感謝します。一緒に祈りませんか？ 主よ、父よ、私たちは今晚、あなたのもとに参ります。

あなたの御言葉の中で、共に集うこの時間を本当にありがとうございます。主よ、あなたの御子イエス・キリストの犠牲を思い起こしながら、今晚も聖餐式に与れることを感謝します。今晚、御言葉に入るとき、主よ、この時間を祝福してくださいませんか？ 主よ、今晚あなたが私たちにご用意くださったものを受け取れるよう、私たちの心と思いと耳を開いてくださるよう祈ります。私たちがこの場所、この建物を出て、家に帰り、次の一週間を過ごすにあたり、今夜ここで学んだことを無駄にしないよう祈ります。ですから、聖霊よ、今夜私たちにお語り下さい。あなたの御言葉を届けるレイトゥ牧師をあなたに感謝します。彼を力づけ、主よ、彼が立ち、あなたの御言葉を宣言するのを助け続けてください。イエスの御名によって、アーメン。アローハ！（会衆：アローハ！）

どうぞ、ご着席ください。まだ、聖餐式セットを受け取っていない方は、後ろの両扉のそばにありますので。アロハ、そしてカルバリーチャペルによろこそ！ オンラインでご覧の方、礼拝堂に居られる方も歓迎します。祝福された新年を迎えられたことを祈ります。JD ファラグ牧師に代わり、ハッピーニューイヤー！（会衆：ハッピーニューイヤー）ああ、私たちは毎週これをやっていますね。もう一度やってみましょう。ハッピーニューイヤー！（会衆：ハッピーニューイヤー！）アーメン。

日曜日は、8時半と10時45分の、2回礼拝があります。8時半の礼拝は、「聖書預言・アップデート」、10時45分の礼拝は、新約聖書を通して教えています。えっと...、すみません、いや、10時45分の礼拝は新約聖書ですね。週半ばの学びは、木曜日の夜7時で、JD 牧師が、旧約聖書を通して教えています。JD 牧師は休暇中で、家族との時間を過ごしています。どうか、彼と彼の家族のために、祈り続けてください。彼の妻ケリーのために祈ることも、忘れないで下さい。彼女は癌で、私たちは彼女の癒しのために祈っています。アーメン。

JD 牧師は、来週の火曜日に戻って来られ、祈りの時を導いてくれます。その祈り会は、ここ礼拝堂で夜7時から行います。毎月第一火曜日は必ず集まり、教会全体で祈りを捧げます。ですから、いつでも歓迎です。今夜も「ガラテヤ人への手紙」から教えようと思っていたのですが、主は、主だけがお出来になる方法で方向を変えられました。新年なので、神は人々に手を差し伸べることを望んでおられます。神は、人々が新しい人生を経験することを望んでおられます。神は、人々に良い知らせを届けたいと願っておられます。これは2024年、最初の集会で、神は救われていない人々に語りかけたいと願っておられます。神はまた、今日、主の教会である私たちにも、語りかけたいと願っておられます。聖霊は、「ヨハネの福音書」から教えるよう、私を導かれました。私の好きな福音書の箇所の一つは、「ヨハネの福音書」3章です。この章で、私たちはニコデモに出会います。彼は、イエスに会いたがっています。彼は、主がなさった驚くべきことをすべて聞いています。「ヨハネの福音書」のこの記述をご存じの方もいるでしょうが、読んだことのない方もいるでしょう。私は、ここ礼拝堂におられる方、オンラインでご覧の方で、救われていない人たちのために祈ります。待たないで下さい。しばらくイエスから離れていたなら、戻ってきてください。イエスは、両手を広げて待っておられます。

では、聖書の「ヨハネの福音書」3章を開き、1節から始めましょう。しかし、その前に、頭を下げ、祈りましょう。

父よ、私たちはあなたの御座の前に参ります。あなたの御言葉に感謝します。主よ、あなたが御言葉を通

して、私たちが教え導いてくださることを祈り、感謝を捧げます。主よ、私たちが聖句に入り、主が私たちの心に語ってくださるとき、私たちはとてもワクワクします。主よ、あなたが私たちに明らかにしてくださることに、私たちはただ驚かされます。ですから私たちは、主よ、あなたの聖霊の力によって、あなたが今夜なさろうとしておられることを、ただ感謝するために、あなたの御前に参ります。あなたのもとに行き、あなたに感謝します。イエスの御名によって、アーメン。「ヨハネの福音書」3章1節、

ーヨハネ 3:1ー

さて、パリサイ人の一人で、ニコデモという名の人があった。ユダヤ人の議員であった。

「ヨハネの福音書」3章で、イエスは同胞のユダヤ人に出会います。彼の名は、ニコデモです。彼は、イスラエルの首都エルサレムに住んでいます。美しいユダヤ教の神殿がまだ残っており、ユダヤ教はイスラエルの国教です。ローマは、イエス誕生の63年前にイスラエルを征服し、今、イスラエル国家を占領しています。ユダヤ人はローマの占領を軽蔑し、ローマ人を排除する救い主を待ち望んでいました。彼は、自分が征服王になると考えていました。ただの人間が。ローマのくびきを、打ち負かすことができるはずだと。彼らは、主がすでに来られたことに気づきませんでした。その名はイエス・キリスト。

イエスは完全な神であり、完全な人として来られ、人間の計画ではなく、神のご計画を成就するために来られました。ニコデモは、ユダヤ人の支配者です。政治的に、力のある男でした。彼はまた、アメリカの上院議員のようなサンヘドリンの議員でもありました。彼はパリサイ人、つまり宗教指導者でもあります。彼らには、600人の勢力があり、宗教に厳格でした。また、ユダヤ教の宗教に関する教師でもありました。他のイスラエル人と同様、パリサイ人もよそ者を排斥しました。異邦人とは、世のユダヤ人以外のすべての人です。ユダヤ人は、異邦人とは付き合いませんでした。ニコデモは、刺激的な時代に生きています。イエスが現れ、足の不自由な人、目の見えない人、病人を癒され、誰もそのような力を見たことがなかったからです。イエスはまた、神殿で教えられました。イエスのように、神の御言葉を教えた人はいませんでした。しかし、イスラエルを常に悩ませてきた問題がありました。イスラエルの指導者たちの多くは墮落しており、神を畏れる正しい人のふりをしていました。これらの指導者たちの多くは歪んでおり、祭司たちでさえ、権力者で、金持ちで、自惚れ、貪欲で、野心家で、利己的でした。多くの人が悪に根ざし、罪の中に生きていました。外見は整っていましたが、内面は邪悪な者が多かったのです。彼らは自分たちの規則に従い、自分たちの好きなことをしました。パリサイ人の多くは、イエスを憎んでいました。イエスは、彼らを偽善者だと非難されました。金儲けの台をひっくり返されました。(ヨハネ 2:15 参照) 人々は、神の神殿の中に市場を作ったので、イエスはそうされたのです。ニコデモは違いました。彼は愛する人であり、神を求めていました。彼は、イエスに真理を求めに来ました。ニコデモは、ニコデモに仕えていた男たちが、偽善者であることを見てきました。ニコデモはおそらく、生涯を通じて、この人たちを知っていたのでしょう。彼と一緒に大学、聖書大学に行った人たちで、主に仕えるべき人たちで、国や世に対して、神を代表するはずの人たちでした。彼らは、人々に仕えるべきでしたが、しかし、彼らには、自分たちの意図がありました。実に、彼らは、自分自身のために仕えていました。悲しいことに、こんにちの教会では、多くの指導者が同じことをしています。彼らはイスラエルを支配し、人々の命を握っていました。彼らは、宗教的な法律を作るはずだったのに、多くは非倫理的でした。「箴言」29章2節にこうあります。

ー箴言 29:2ー

正しい人が増えると、民は喜び、悪しき者が治めると、民はうめく。

ユダヤ神殿は、イスラエルにある美しい建造物でした。それは、神が礼拝される場所であり、人々が主とお会いし、人々が祈れる場所でした。彼らは神殿で、罪のためのいけにえを捧げました。彼らはそこで、仲間のユダヤ人と交流することができましたが、人々は知っていました。人々は、指導者たちや祭司たちの腐敗を知りながら、それでも神殿に行きました。ヘブライ語の聖書には、ユダヤ人、つまりユダヤ人男性は、年に3回神殿を訪れるよう指示されています。春の過越の祭り、夏のシャブオット、秋の仮庵の祭りに1度ずつ。多くの人々には、神への真摯な愛がありました。人々は、エルサレムにある主の神殿で礼拝するために、主の近くに行きたかったのです。人々は、罪のための捧げ物も持ってくる必要がありました。当時の神殿のように、多くの人々がカルバリーチャペル・カネオへを訪れるようになりました。ここは、神が私たちを祝福してくださった美しい建物です。神はこの聖堂（聖域）を、本当に祝福してくださり、人々が世界中から私たちを訪れます。オーストラリア、南アフリカ、ヨーロッパ、南米、アメリカ、アジア、日本。神の聖霊が、彼らをこの場所へと導かれます。この聖霊が、私たちの教会も守ってくださっています。人々は、この場所に来て、イエスとお会いできると知っていて、ここが安全な場所だと知っています。ここに来て、主を礼拝することができます。人々は来て、神の御言葉を聞くことができます。人々はお願ひし、祈ってもらえます。そして、ここの指導者が、聖霊に導かれていることを知っています。ここでも、ユダヤ教の指導者たちは、イエスに嫉妬しました。彼らは、イエスを妬みました。彼らは、イエスがされたように癒したかったのです。イエスが教えたように教えたいと思いました。彼らは、人々がイエスに従ったように、自分たちに従って欲しかったのです。しかし、彼らはイエスを拒絶しました。ユダヤ人の中には、イエスが行った奇跡を見た者もいました。イエスのように愛を示し、癒した者はだれもいません。しかし、彼らは謙虚になるどころか、妨害しました。彼らは悔い改めるどころか、救い主を殺そうとしました。ニコデモは権力者であるだけでなく、金持ちでもありました。経済的に裕福でした。彼の心が望むものは、何でも手に入れることができたはずですが、しかし、彼の功績、地位、繁栄、権力、富のすべてがあっても、彼の魂にはまだ何かが欠けていました。彼の心には、虚しさがありました。この瞬間、彼の唯一の望みは、イエスを求めることでした。私はニコデモと、彼が考えたであろうことを思い浮かべてみます。

「イエスが答えを持っておられると私には分かる。」と彼は考えたでしょう。「イエスは、今まで会った誰とも違う。イエスが行っている奇跡、誰も盲人を癒したことはない。これが長い間待ち望んだメシア（救い主）なのだろうか？ おそらく、イエスは本当に神の子なのだろう。人々が言っていたように、イエスは神なのかもしれない。」

今日ここに居られる方、あるいはオンラインでご覧の方で、もしかしたら計り知れないほど裕福かもしれないし、まったく何も持っていないかもしれません。あなたは、人生について、答えを探しているかもしれません。これを聞いてください。あなたの人生にイエスがおられる時、イエスに心を委ねた時、イエスがあなたの主な焦点となる時、必要なものはすべて揃い、それ以上のものも得ることになります。アーメン。

神は私たちを造られ、私たちを愛しておられます。神は、私たちのために、御子を犠牲として遣わすことによって、それを証明されました。「テトスへの手紙」3章3節から7節は私たちに語ります。

ーテトス 3:3ー

私たちも以前は、愚かで、不従順で、迷っていた者であり、いろいろな欲望と快樂の奴隷になり、悪意とねたみのうちに生活し、人から憎まれ、互いに憎み合う者でした。

ーテトス 3:4ー

しかし、私たちの救い主である神のいつくしみと人に対する愛が現れたとき、

ーテトス 3:5ー (新改訳)

神は、私たちが行った義のわざによってではなく、ご自分のあわれみのゆえに、聖霊による、新生と更新 (新しい人生) との洗いをもって私たちを救ってくださいました。

ーテトス 3:6ー

神はこの聖霊を、私たちの救い主イエス・キリストによって、私たちに豊かに注いでくださったのです。

ーテトス 3:7ー

それは、私たちがキリストの恵みによって義と認められ、永遠のいのちの望みによって、相続人となるためです。

イエスがあなたの人生の主であるとき、あなたは祝福されます。天国は、主を信じる者に約束されています。自分の人生を、主に委ねてください。約束します。あなたは圧倒されるでしょう。「ヨハネの福音書」3章2節を続けましょう。

ーヨハネ 3:2ー

この人が、夜、イエスのもとに来て言った。「先生。私たちは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神がともにおられなければ、あなたがなさっているこのようなしるしは、だれも行いうことができません。」

イスラエルの指導者たちは、イエスを憎んでいましたが、彼らはイエスが神によって遣わされたことを認めました。彼らは、イエスが長い間待ち望んだメシアで、神の御子であり、肉体を持った神であるという話を聞きました。信じる者もいましたが、ほとんどの者は信じませんでした。イエスは、彼らの腐敗した慣習を破壊しておられました。先にも述べたように、イエスは彼らの台を、思い切りひっくり返されました。イスラエルの歴史を通して、彼らは国家として後退し続けました。彼らは、偶像崇拜に傾倒していき、主のもとに戻り、また墮落します。これは、何度も何度も繰り返されました。神はユダヤ人を選び、祝福されました。彼らは、主にとって何よりも大切なものであったと聖書は語ります。神は、イエスを世にもたらすために、彼らを選ばれました。イエスは、アブラハム、イサク、ヤコブの血筋を通して生まれます。ダビデ王もその血筋で、イエスの母マリアもそうでした。神はユダヤ人を通して、聖書をもたられました。それは私たちへのラブレターで、地上での人生の指示書、永遠の命へのガイドブックです。しかし、多くのユダヤ人は墮落した状態で、神から遠く離れ、空しく満たされていませんでした。もしかしら、あなたは教会におられるか、オンラインでご覧で、主を知っているかもしれません。何年も前に、主を受け入れる祈りをしたかもしれません。宗教の教会に、顔を出すこともあるかもしれません。しかし、内心では、あなたの心は主から離れている。あなたはそれが分かっています。主はあなたを愛し、あなたが戻ってくるのを待っておられます。主は決して、あなたのそばを離れません。神は、あなたの葛藤を見ておられ、知っておられます。主の恵みは、たとえあなたが墮落した状態であっても、主はあなたを迎えに行かれます。あなたが何をしたかにかかわらず、主はあなたを完全な者にしようされ、主は、あなたの喜びが戻ることを望んでおられます。主は、天国であなたと一緒にいることを望んでおられます。ニコデモは神を敬い、大切に思い、彼は、イエスが持つておられた真実と愛を見ています。彼は、兄弟たちや祭司たちの中に愛や真実を見たことがありません。実際、祭司たちは陰謀を企てています。指導者たちは、世の救い主イエス・キリストを殺す準備をしています。ニコデモは夜、イエスのもとを訪れました。

「箴言」29章25節、聖書が語ります。

一箴言 29:25一

人を恐れると罾にかかる。しかし、主に信頼する者は高い所にかくまわれる。

ニコデモは、自分の仲間の悪事を知っていました。仲間たちから迫害されていた彼は、闇に紛れてイエスのもとを訪れました。町のユダヤ人たちは、ニコデモを「ラビ」と呼びました。「ラビ」とは「先生」の意味です。それは尊敬のしるしでした。しかし、ニコデモはイエスのところに来て、イエスを「ラビ」と呼びました。イエスは大工として育ちましたが、神の御言葉をそれほど力強く、柔和に教え説かれました。人々は、イエスの話を聞くために世界中から集まりました。イエスはそれほど詳しく、真実を語られ、その表情には愛と謙遜があらわれました。ニコデモは、イエスに最大限の敬意を払い、ラビと呼びました。この同じ節でも、彼はイエスに、イスラエルの指導者たちは、この真理を認識していると語ります。彼らは、イエスは神から遣わされたと理解していると。このユダヤの宗教家たちは、イエスがなされたこと、教えと奇跡、ラザロの死からの復活を目撃しながらも、イエスを拒絶しました。あなたは、彼らがひれ伏すと思うでしょう。謙虚になるかと思いきや、彼らは悔い改めるどころか、反抗しました。「悔い改める」という言葉は、私の好きな言葉のひとつです。「向きを変える、方向転換する」という意味です。それは、神から逃げるのをやめ、神に向かって走り出すことを意味します。悔い改めは、あなたにそのような祝福をもたらす、新しくより良い人生を祝福され、人生に喜びをもたらすことを約束します。たとえあなたが試練を経験しても、イエスという親友を持つことができます。「ヨハネ福音書」3章3節で、イエスが語られます。

一ヨハネ 3：3一

イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに言います。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」

イエスは、ニコデモが望んでいることをご存知なので、余分な話を切り捨てられました。イエスは核心を突かれます。「ニコデモよ、生まれ変わらない限り、天国には入れません。」聖書には書かれていませんが、ニコデモはショックを受けたに違いありません。ニコデモは、一生涯これで十分だと思っていました。彼は、天国に入るのに十分な働きをしたと思っていました。結局は、彼はユダヤ人で、神に選ばれた民の一人であり、神にとって非常に愛しいものだ。彼は「自分は良い人だ」と、自分自身で思っていました。

「私は異邦人のような罪びとではない。生涯神に仕えてきたし、毎日聖書を読んでいる。安息日と平日にも、シナゴグ（会堂）に行っている。」が、ここにイエスがおられ、ニコデモはこう考えます。

「信仰深い私に、生まれ変わらなければ天国に入れないと言うのか？」

イエスを信じたばかりの頃、私は家族に福音を伝えたことを覚えています。「あなたは新生クリスチャンの一人じゃないよね？」私は主にあって、大変若く、新生するという意味を、知りませんでした。新たな自分が歩んでいることだけはわかりました。でも、今日、それが何を意味するかわかります。霊的な誕生は、上からしかもたらされません。神からの贈り物です。主が、それを与えてくださるお方です。最初の誕生は、肉体の誕生です。利己主義と罪に満ちていました。「自分、自分自身、私」が玉座にいました。私の目は、欲望と貪欲さに満ちていました。私たちは誰も許せませんでした。この新しい誕生によって、これまでとは違う人生が始まります。あなたは新たな性質を手に入れ、新しい創造物となります。神はあなたを、自分自身ではなく、よりイエスに似た者になさるため形造り始められます。私の好きな聖句のひとつである「第二コリント人への手紙」3章18節をお読みします。

—II コリント 3:18—

私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、鏡のように主の栄光を映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。

これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。神が私たちを変えておられます。「栄光から栄光へと」は、明日の自分は、今日の自分と同じではないということ。私たちが主とともに成長し、歩み続けるとき、日々神は、私たちを形造り続けられます。栄光は、私たちが読む聖句からの教訓となりえます。教会で聞いた教えからかもしれません。あなたを気遣う兄弟や姉妹からの叱責でもあるかもしれません。神は、私たちの人格と証言を改善されます。

陶芸家がろくろの上で粘土を回すように、私たちはこの人生でぐるぐる回されます。(イザヤ 64:8 参照) イエスが私たちをある栄光から次の栄光へと変えられるので、私たちは同じではありません。聖化とは、神が私たちをこの世から切り離されること。私たちを傷つける影響を取り除かれます。そして、主は次の栄光へと、私たちを導かれます。全て新しい心と思いに換えられ、祝福されながら。また、この新生と共に、あなたはまったく新しい態度/姿勢となります。神はあなたをひっくり返されます。あなたの人生は逆さまでした。(レイトゥ牧師挙手) あなたの人生は真逆になります。主は、あなたの人生を正されます。完璧な人生ではありません。困難はありますが、あなたの人生はより良く変わります。神は嵐の中にあっても、あなたに平安をもたらしてください。主は、新しい優先順位を与えてくださいます。神は今、私たちの人生で、神が一番におられます。私たちが生まれた家族よりも。私たちは今もなお、家族が救われるように祈ります。私たちは今でも家族と会い、交流を続けますが、新しい家族は永遠に共にいます。アーメン。[会衆： アーメン!]

信者との関係は、天国がどのようなか垣間見る、ほんの前触れに過ぎません。「ヨハネの福音書」3章4節、

—ヨハネ 3:4—

ニコデモはイエスに言った。「人は、老いていながら、どうやって生まれることができますか。もう一度、母の胎に入って生まれることなどできるでしょうか。」

ニコデモは、イエスの言葉に戸惑いました。ニコデモは宗教の教師でありながら、「新しく生まれる」という言葉を知らず、理解もしていません。「ヨハネの福音書」3章5節から6節、

—ヨハネ 3:5—

イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに言います。人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできません。

—ヨハネ 3:6—

肉によって生まれた者は肉です。御霊によって生まれた者は霊です。

水から生まれるということは、私たちの最初の誕生、つまり母の胎内からの誕生を意味します。産まれる時、羊膜が破れ水が流れ出し、私たちは誕生します。それからイエスは、御霊による誕生について言及されました。7節から8節、イエスはこう語られます。「ヨハネの福音書」3章7節から8節、

—ヨハネ 3:7—

あなたがたは新しく生まれなければならない、とわたしが言ったことを不思議に思っはなりません。

—ヨハネ 3:8—

風は思いのままに吹きます。その音を聞いても、それがどこから来てどこへ行くのか分かりません。御霊

によって生まれた者もみな、それと同じです。」

8節で、イエスは風を参照されます。聖書では、風は聖霊にたとえられます。私たちは、聖霊が神であるのを知っています。三位一体の第三位格。風は目に見えません。聖霊は目に見えません。風のように、聖霊は、穏やかな風、夏の涼しい風、破壊する力のあるハリケーンのように感じられます。風が自由に行き来するように、聖霊も自由に行き来されます。私たちは風を見れませんが、その影響を見ることはできます。風が通り過ぎ、枝が動くのが見えます。ココナツの木が揺れるのが見えます。私たちは風が見えないように、聖霊が見えませんが、聖霊の影響は見ることができます。私たちは、その人の人生の変化を見ます。聖霊は信者の心、新しい信者の心に入られます。彼らは別人になります。「第二コリント人への手紙」5章17節、

—IIコリント 5:17—

ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

目には見えない聖霊が働き始められます。私たちが目にできる影響には、どのようなものがあるのか？ どのような変化が起こり得るのか？ ある変化は即座に起こります。時間がかかるものもあります。アルコール依存者が飲酒を止める。(レイトゥ牧師：挙手)

賛美リーダーになる者もいれば、牧師になる者さえいます。(レイトゥ牧師：挙手)

泥棒は盗みをやめ、姦淫する者は遊び回るのをやめます。夫は、妻や子どもを殴るのをやめ、妻はようやく夫を尊敬し、従うようになります。子どもたちは今、家で平安に過ごし、彼らは救われさえします。悪口や口汚い言葉は一掃されます。貪欲な者は、持っているもので満足します。無神論者は、今、神を愛しています。彼らはイエスに夢中です。あなたがここ礼拝堂におられ、あるいはオンラインでご覧になり、何らかの理由でイエスを拒否するなら、あなたは、自分の心と思いが真理だと語ることに對して戦っています。「ローマ人への手紙」2章14節から16節、

—ローマ 2:14—

律法を持たない異邦人が、生まれつきのままで律法の命じることを行う場合は、律法を持たなくても、彼ら自身が自分に対する律法なのです。

—ローマ 2:15—

彼らは、律法の命じる行いが自分の心に記されていることを示しています。彼らの良心も証ししていて、彼らの心の思いは互いに責め合ったり、また弁明し合ったりさえするのです。

—ローマ 2:16—

私の福音によれば、神のさばきは、神がキリスト・イエスによって、人々の隠された事柄をさばかれるその日に行われるのです。

異邦人には、罪が悪いと教える聖書がありませんでした。しかし、異邦人の良心は、罪は間違っていること、また、神の存在を告げていました。神は私たちすべてを創造され、神を知るために私たちを造られました。この人生において、私たちは、主なしには決して満足できません。私は、主を知らないあなたを励ましたいのです。ゆだねてください。「ヨハネの福音書」3章9節は私たちに語ります。

—ヨハネ 3:9—

ニコデモは答えた。「どうして、そのようなことがあり得るのでしょうか。」

9節で、ニコデモは自分の名誉のために、イエスに正しい方法で近づきました。ニコデモは謙虚になりま

した。彼は「理由」ではなく、「方法」を尋ねました。彼は、偉そうな態度や肩書き/経歴で、イエスのもとに来ませんでした。彼はこう言いませんでした。「イエスよ、私はサンヒドリンの一員で、イスラエルの支配者で、政治的影響力を持っています。私はパリサイ人で、全てのコネ/つながりがあります。私は一流の宗教大学に通いました。人々は宗教的な答えを求め、私のところにやって来ます。」とは。

ニコデモはイエスに、彼が行ってきた生涯すべての善行、全ての良い行いを示せたはずですが。彼には、善行の長いリストがありました。若い頃から神のためにしてきたこと、地域社会のためにしたこと、同胞のためにしたこと。その代わり、ニコデモは謙虚になり、神に「方法/どのように」を尋ねました。謙虚さは、神の注意を引きます。祝福の扉は、謙虚な者に開かれます。神は、高慢で尊大な心に抵抗されますが、しかし、主は謙虚な者に恵みを与えられます。また、謙虚な者を高めてくださいます。(マタイ 23:12 参照) 主は、へりくだる者を救いで飾られます。「箴言」22章4節、

一箴言 22:4一

へりくだりと主を恐れることの報いは、富と誉れといのち。

謙虚さは、人をも惹きつけます。私は謙虚さの定義に出会い、それはこうです。「プライド/高ぶりと傲慢さがないこと。」人々は、謙虚な者を尊ぶ傾向があり、プライド/高ぶりに膨れ上がる人を温かく見守るのは簡単ではありません。あなたがまだ救われておらず、イエス・キリストに信仰を置いたことがないなら、どうか待たないでください。イエスの来臨は、あなたが考えるよりも早いです。あなたの救いは、主によって決まりだと確信してください。聖書は私たちに語ります。イエスが天国への道だと。「ヨハネの福音書」14章6節、

一ヨハネ 14:6一

イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。

イエスこそが、天国への道です。それ以外に救われる道はありません。「エペソ人への手紙」2章8節から9節、

一エペソ 2:8一

この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。

一エペソ 2:9一

行いによるものではありません。だれも誇るものがないためです。

神は、あなたの善行や行いによってあなたを救われるものではありません。この2週間でお話ししたように、神はプライドが入り込むのを知っておられ、プライドを忌み嫌われます。「ローマ人への手紙」で聖書は語ります。

一ローマ 3:10一

義人はいない。一人もいない。

「ローマ人への手紙」3章23節、

一ローマ 3:23一

すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、...

罪は私たちを、永遠に神から引き離します。地獄は、悪魔と墮天使のために造られました。そこはまた、命の書に名前が記されていない人々のための場所でもあります。「ローマ人への手紙」6章23節、

ーローマ 6:23ー

罪の報酬は死です。しかし神の賜物(贈り物)は私たちの主キリスト・イエスによる永遠のいのちです。再度、それは永遠の罰で、分離です。死と呼ばれます。それが死が存在する理由です。(エデンの)園での罪は、全人類に死をもたらしました。それが、私たちに救い主が必要な理由です。その救い主の名はイエス。「ローマ人への手紙」10章9節、

ーローマ 10:9ー

あなたの口でイエスは主と告白しあなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。

あなたがへりくだり、自分の過ちを認め、イエスが十字架で死なれ、三日目によみがえられたことを信じると、あなたは救われます。あなたがせねばならない全ては、ただ主を呼び求めること。「ローマ人への手紙」10章13節、

ーローマ 10:13ー

「主の御名を呼び求める者はみな救われる」のです。

それが、あなたがせねばならない全てです。信仰によって信じ、イエスを呼び求めること。神はあなたの人生に偉大な働きをしたいと願っておられます。礼拝堂、またはオンラインで観ておられるあなたに。主は、あなたが主を呼び求めるのを待っておられます。さて、ここで主イエスとともに歩み続ける信者の皆さんに話します。あなたが、最近主のもとに来られた方であろうと、長年忠実な方であろうと、主は今年、あなたに御言葉をご用意されています。「ローマ人への手紙」12章をお読みします。「ローマ人への手紙」12章1節、

ーローマ 12:1ー

ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。

自分自身を完全に神に捧げること。あなたの人生において、イエスを最優先させること。イエスは、私たちのために犠牲となりました。ですから、他の人のために犠牲となりましょう。「ローマ人への手紙」12章2節、

ーローマ 12:2ー

この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。

悪魔はあなたの人生を奪い、殺し、嘘をつき、破壊しようとしています。敵にあなたを神から引き離させてはなりません。神の御言葉である聖書を読むことによって、思いを新たにすること。神にあなたを、神の似姿に変え続けていただくのです。自分の人生に対する神の御心を知り、それに従ってください。従えば、素晴らしい旅になります。ネパールから帰ってきた人たちに聞いてみてください。「ローマ人への手紙」12章3節、

ーローマ 12:3ー

私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがた一人ひとりに言います。思うべき限度を超えて思い上がってはいけません。むしろ、神が各自に分け与えてくださった信仰の量りに応じて、慎み深く考えなさい。

先ほど、謙虚さの魅力について触れましたが、プライド/高ぶりは吐き気を催し、嫌悪感を抱かせます。あなたには、神からの召しがあります。それに従い、楽しむ。アーメン。[会衆：アーメン！]

「ローマ人への手紙」12章4節から8節、

ーローマ 12:4ー

一つの中からには多くの器官があり、しかも、すべての器官が同じ働きをしてはならないように、

ーローマ 12:5ー

大勢いる私たちも、キリストにあって一つの中からであり、一人ひとは互いに器官なのです。

ーローマ 12:6ー

私たちは、与えられた恵みにしたがって、異なる賜物を持っているので、それが預言であれば、その信仰に応じて預言し、

ーローマ 12:7ー

奉仕であれば奉仕し、教える人であれば教え、

ーローマ 12:8ー

勧めをする人であれば勧め、分け与える人は惜しまずに分け与え、指導する人は熱心に指導し、慈善を行う人は喜んでそれを行いなさい。

ミニストリー、特に教会では、自分自身を高く評価する傾向があります。私たちは、ミニストリーの召しは神からであることを忘れてしまうことがあります。プライド/高ぶりのせいで、多くの人が墮落していくのを私は見ます。しかし、私たちにはそれぞれ主からの召しがあります。神が、あなたに与えられた召しに忠実であってください。神は愛であられ、プライド/高ぶりや高慢な態度を捨てられます。愛は私たちに、奉仕するすべての人、つまり教会にいる私たちの兄弟姉妹を敬い、尊重するよう求めます。床を掃除したり、ゴミ出しの奉仕に心と時間を捧げる人たちを愛し尊敬すること。主が指導者として導かれる者たち、執事、長老、牧師たちは、それぞれ異なる役割を担いますが、私たちは一つです。私たちはみな一つの体であり、互いに愛し合うべきです。私は、愛に溢れたカンファレンスに行くのが大好きです。本土からの人たちに会ったことがありますか？ 世界中から、カルバリーチャペルのカンファレンスに参加します。私たちがこの教会で抱くのと同じ愛を、そこで、初対面の人たちにも見ます。しかし、うぬぼれの強いクリスチャンにも会いました。「ローマ人への手紙」12章9節から11節、

ーローマ 12:9ー

愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善から離れないようにしなさい。

ーローマ 12:10ー

兄弟愛をもって互いに愛し合い、互いに相手をすぐれた者として尊敬し合いなさい。

ーローマ 12:11ー

勤勉で怠らず、霊に燃え、主に仕えなさい。

教会にいる兄弟姉妹に仕え、同様に彼らを愛しましょう。アーメン。[会衆：アーメン]

神はいつも、私たちのそばにいてくださいます。困っている兄弟のために、同じことをしてください。奉仕に熱心であること。怠けたり、ダラダラしてはなりません。兄弟姉妹を助けること。「ローマ人への手紙」12章12節から15節、

ーローマ 12:12ー

望みを抱いて喜び、苦難に耐え、ひたすら祈りなさい。

ーローマ 12:13ー

聖徒たちの必要をともに満たし、努めて人をもてなさない。

ーローマ 12:14ー

あなたがたを迫害する者たちを祝福しなさい。祝福すべきであって、呪ってはいけません。

ーローマ 12:15ー

喜んでいる者たちとともに喜び、泣いている者たちとともに泣きなさい。

聖書に登場する聖人は皆、信者であることを忘れないでください。イエスを救い主として受け入れたなら、あなたは聖人です。アーメン。[会衆：アーメン!]

私たちは常にキリストの体のために祈り、傷ついている人々を慰めるよう努めるべきです。「ローマ人への手紙」12章16節から19節、

ーローマ 12:16ー

互に一つ心になり、思い上がることなく、むしろ身分の低い人たちと交わりなさい。自分を知恵のある者と考えてはいけません。

ーローマ 12:17ー

だれに対しても悪に悪を返さず、すべての人が良いと思うことを行うように心がけなさい。

ーローマ 12:18ー

自分に関することについては、できる限り、すべての人と平和を保ちなさい。

ーローマ 12:19ー

愛する者たち、自分で復讐してはいけません。神の怒りにゆだねなさい。こう書かれているからです。

「復讐はわたしのもの。わたしが報復する。」主はそう言われます。

調和と平安の中で生きるとは、言うのは簡単ですが、実行するのは難しいです。私たちは挑まれると肉が奮い立ち、罪を犯します。私たちの戦いは、私たちの神に任せましょう。神はご自分の時に、ご自分の方法で報いられます。最後に、「ローマ人への手紙」12章20節、21節は語ります。

ーローマ 12:20ー

次のようにも書かれています。「もしあなたの敵が飢えているなら食べさせ、渴いているなら飲ませよ。なぜなら、こうしてあなたは彼の頭上に燃える炭火を積むことになるからだ。」

ーローマ 12:21ー

悪に負けてはいけません。むしろ、善をもって悪に打ち勝ちなさい。

今夜、私たちは聖餐式に与かります。そして、これは聖餐式への完璧な導入となります。イエスは、決して悪によって打ち勝たれなかったからです。イエスは神であり、常に良いお方で、イエスを憎む者たちにさえも良いお方であられるからです。しかし、その時は近づき、時は迫っています。これは最後の晩餐であり、過越祭のセデルの祝宴でした。また祝宴はありますが、この地上ではありません。間もなくイエスは、ご自分の血によって新しい契約を結ばれます。旧約聖書の「エレミヤ書」異邦人は常に、神の救いのご計画に含まれていたと書かれています。しかし、ユダヤ人は決してそうせず、敬遠しました。それが「エレミヤ書」16章19節から21節にあります。エレミヤが語ります。

ーエレミヤ 16:9ー

「主よ、私の力、私の砦、苦難の日の私の逃げ場よ。あなたのもとに、諸国の民が地の果てから来て言うでしょう。『私たちの父祖が受け継いだものは、ただ偽りのもの、何の役にも立たない空しいものばかり。』

—エレミヤ 16:20—

人間は、自分のために神々を造れるだろうか。そのようなものは神ではない』と。」

—エレミヤ 16:21—

「それゆえ、見よ、わたしは彼らに知らせる。今度こそ彼らに、わたしの手、わたしの力を知らせる。そのとき彼らは、わたしの名が主であることを知る。」

そう、イエスの血によるこの新しい契約は、ユダヤ人だけでなく、私たち異邦人のためでもあります。古い契約には、いのちがありませんでした。それに従う者はいませんでした。聖書は語ります。

「すべての人は罪を犯し、神の栄光を受けられず」（ローマ 3:23 参照）

新しい契約において、神は私たちに聖霊を与えてくださいました。主は、この聖霊を私たちに与え、主に従う願いと心を与えてくださいました。「エレミヤ書」31章33節から34節は私たちに語ります。

—エレミヤ 31:33—

これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである——主のことば——。わたしは、わたしの律法を彼らのただ中に置き、彼らの心にこれを書き記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

—エレミヤ 31:34—

彼らはもはや、それぞれ隣人に、あるいはそれぞれ兄弟に、『主を知れ』と言って教えることはない。彼らがみな、身分の低い者から高い者まで、わたしを知るようになるからだ——主のことば——。わたしが彼らの不義を赦し、もはや彼らの罪を思い起こさないからだ。」

では、共に聖餐式に与かりましょう。聖餐式セットをお持ちでなければ、後方の扉のそばにあります。「ルカの福音書」22章14節から20節をお読みします。

—ルカ 22:14—

その時刻が来て、イエスは席に着かれ、（12人の）使徒たちも一緒に座った。

—ルカ 22:15—

イエスは彼らに言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたと一緒にこの過越の食事をする

ことを、切に願っていました。

—ルカ 22:16—

あなたがたに言います。過越が神の国において成就するまで、わたしが過越の食事をする

—ルカ 22:17—

ことは、決してありません。

—ルカ 22:18—

そしてイエスは杯を取り、感謝の祈りをささげてから言われた。「これを取り、互いの間で分けて飲みなさい。」

—ルカ 22:19—

あなたがたに言います。今から神の国が来る時まで、わたしがぶどうの実からできた物を飲むことは、決してありません。」

—ルカ 22:19—

それからパンを取り、感謝の祈りをささげた後これを裂き、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」

杯の上部を開き、共にいただきましょう。

—ルカ 22:20—

食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による、新しい契約です。」

では、杯をいただきます。主よ、感謝します。カポノ、上がって来て下さい。ご起立ください。よろしければ、祈りましょう。

父よ、今日、今晚、あなたの御座の前に参ります。主よ、御子を通して成し遂げてくださった救いに感謝します。主よ、私たちは決して忘れません。私たちは十字架を、あなた、イエスがなされた犠牲を決して忘れません、父よ。主よ、私たちがしたこと、私たちの罪のために、あなたが十字架にかからねばならなかったことを、本当に悔います。私はただ「主よ、感謝します」と言うために、あなたの御前に参ります。主よ、ローマが考案した十字架刑にかかるため御子イエスを遣わさねばならなかった、あなたの救いのご計画に感謝します。イエスよ、私たちを赦してください。あなたが耐えねばならなかった痛み、恥を。主よ、私たちは決して忘れません。私たちは、あなたが私たちのためにしてくださったことを決して忘れません。あなたの私たちへの偉大な愛のゆえに。あなたの御言葉は私たちに語ります。

「神は実にそのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハネ 3:16)

私たちは、心から感謝しています。主よ、あなたが私たちのためにしてくださったことを決して忘れません。私たちは「父よ、あなたに感謝します」と伝えるためにあなたの御座の前に参ります。イエスよ、感謝します。そして聖霊よ、あなたが私たちの人生をどのように導き、案内してくださるのか、今夜私たちを、どのように導き、案内してくださったのかに感謝します。私たちは、あなたを賛美し、あなたに感謝し、あなたはとても、とても、とてもふさわしく、すべての栄光をあなたに捧げるために、あなたの御前に参ります。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャーペルカネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7